

施策番号	1305		
施策名	子どもの健全育成のための環境づくり，放課後の子どもたちの居場所づくり		
概要	放課後の子どもたちの安心・安全な居場所を確保するため，児童館・学童保育所における取組の充実を図るとともに，児童館と地域との連携の強化を進める。		
担当局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン(2015～2019)		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	27年度	28年度	29年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト	
1 児童館の利用児童数(人)	a	c	615,108	619,125	665,805	93.0%	d	1.00	
2 学童クラブ事業の登録児童数(人)	a	a	10,833	11,714	10,833	108.1%	a	1.00	
3 中高生と赤ちゃんとの交流事業参加人数(人)	-	a	15,187	15,170	15,187	99.9%	b	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		<b>a</b>	<b>a</b>	<b>客観指標総合評価</b>				<b>b</b>	

#### 2 市民生活実感評価 \*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度	28年度	29年度回答						
			そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1 子どもたちが安心して過ごせる居場所 や遊び場が身近にある。	c	c	46	132	166	85	38	467	c
			9.9%	28.3%	35.5%	18.2%	8.1%		
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
		<b>c</b>	<b>c</b>	<b>市民生活実感調査総合評価</b>				<b>c</b>	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている				28年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感		
<p>(重み付けの理由)</p> <p>対象者が子育て世帯という限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。</p>					27年度	B
<p>(原因分析)客観指標総合評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。</p> <p><input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。</p>						
<p>(原因分析)市民生活実感調査総合評価</p> <p><input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。</p> <p>「学童クラブ事業の登録児童数」は着実に増加しているが、利用児童数が横ばいの状況にあり、「子どもたちが安心して過ごせる居場所や遊び場が身近にある」という実感につながっていないと考えられるため、市民への広報・周知を強化していく必要がある。</p>						

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	八瀬野外保育センター運営補助	17,568	17,563	良い	子ども若者はぐくみ局
2	桂坂野鳥遊園運営補助	4,287	4,207	普通	子ども若者はぐくみ局
3	京都子ども文化会館運営補助	31,260	33,903	普通	子ども若者はぐくみ局
4	放課後ほっと広場	70,656	70,450	かなり良い	子ども若者はぐくみ局
5	児童の健全育成及び放課後留守家庭児童対策	3,472,298	3,833,739	普通	子ども若者はぐくみ局
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・一元化児童館については、引き続き、自由来館機能の充実などにより、「児童館の利用児童数」の向上につなげる。

・平成27年4月から子ども・子育て支援新制度の施行により、学童クラブ事業の対象学年が小学校6年生までに拡大したことに加え、就労家庭の増加により学童クラブ事業の利用希望者が増えてきており、学童クラブ事業の設備・運営に関する基準を満たしつつ、利用希望者全員の受入を維持するため、引き続き、必要な実施場所や職員の確保に努める。

さらに、市民の皆様にも「子どもたちが安心して過ごせる居場所や遊び場が身近にある。」と、実感として反映されるよう、学童クラブ機能を有する児童館等が整備されていないが、学童クラブの一定のニーズがある地域において、放課後まなび教室と学童クラブ機能を有する事業を融合した「放課後ほっと広場」事業の実施や、学童クラブ事業を補完する「地域学童クラブ」への事業補助など、幅広い子育て支援の取組の推進に努めていく。

・また、児童館と地域との連携強化の観点からも、子育て世帯以外も含めて市民への広報・周知に努める。

施策名	1305	子どもの健全育成のための環境づくり，放課後の子どもたちの居場所づくり
-----	------	------------------------------------

指標名	児童館の利用児童数（人）
-----	--------------

担当課	育成推進課	連絡先	746-7610
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

児童館における自由来館児童の利用者数の合計

### 2 指標の意味

仕事と子育ての両立に資する児童館の利用状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度末における児童館利用者数の累計  
出典：各施設からの報告

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	615,108	619,125	4,017人増	665,805	過去5年間の最高値	93.0%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	
----	--

### 5 評価基準

最新の数値が過去5年間の  
a：最高値以上  
b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上  
c：上中間値未満～平均値以上  
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上  
e：下中間値未満

### 6 基準説明

過去5年間の数値を基に，過去5年間の最高値以上をa，平均値以上をcとし，最低値も含めた按分で基準を設定した。  
最高値：665,805（平成26年度）  
平均値：625,442  
最低値：577,929（平成23年度）

### 7 評価結果

27	28	29
a	c	d

指標名	学童クラブ事業の登録児童数（人）
-----	------------------

担当課	育成推進課	連絡先	746-7610
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

児童館及び学童保育所において実施している，学童クラブ事業の登録児童数の合計

### 2 指標の意味

仕事と子育ての両立に向けた昼間留守家庭への支援状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度当初における学童クラブ事業の登録児童数の合計  
出典：各施設からの報告

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	10,833	11,714	881人増	10,833	過去5年間の最高値	108.1%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	
----	--

### 5 評価基準

最新の数値が過去5年間の  
a：最高値以上  
b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上  
c：上中間値未満～平均値以上  
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上  
e：下中間値未満

### 6 基準説明

過去5年間の数値を基に，過去5年間の最高値以上をa，平均値以上をcとし，最低値も含めた按分で基準を設定した。  
最高値：10,833（平成27年度）  
平均値：9,093  
最低値：8,246（平成23年度）

### 7 評価結果

27	28	29
a	a	a

施策名	1305	子どもの健全育成のための環境づくり，放課後の子どもたちの居場所づくり
-----	------	------------------------------------

指標名	中高生と赤ちゃんとのお交流事業参加人数（人）
-----	------------------------

担当課	育成推進課	連絡先	746-7610
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

児童館において実施する「中高生と赤ちゃんとのお交流事業」への参加人数の合計

### 2 指標の意味

子どもを共に育むまちづくりに向けた思春期児童の健全育成の進捗状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度中における中高生と赤ちゃんとのお交流事業参加人数の合計  
出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	15,187	15,170	17人減	15,187	過去5年間の最高値	99.9%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	
----	--

### 5 評価基準

最新の数値が過去5年間の  
a：最高値以上  
b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上  
c：上中間値未満～平均値以上  
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上  
e：下中間値未満

### 6 基準説明

過去5年間の数値を基に，過去5年間の最高値以上をa，平均値以上をcとし，最低値も含めた按分で基準を設定した。  
最高値：15,187（平成27年度）  
平均値：13,393  
最低値：11,747（平成24年度）

### 7 評価結果

27	28	29
-	a	b